

読者モデルのお仕事体験

アトラクション・ガイド

Attraction Guide

『ガイド』と一言で言っても、その内容は実に様々。人を驚かせたり、楽しませたりするのが好きな人にお薦めなのが、アトラクション・ガイドです。今回、観光業に興味津々の白取みほさんにガイド体験をしてもらったのは、なんとパースで唯一、国家遺産 (National Heritage) に認定されているフリーマントル刑務所のトンネルツアー！国家遺産が職場です。

ご協力頂いた会社



Fremantle Prison フリーマントル刑務所

1850年代に囚人によって建造され、1991年まで実用されていた刑務所。現在は観光地として4種類の見学ツアーを催行。その内の1つであるトンネルツアーは、刑務所の飲み水確保のために、囚人により掘られたトンネルを利用する探検ツアー。

読者モデル



しらとり

白取 みほさん (19才) 学生

在パース歴：1年3ヶ月
海外旅行先で困っていた時、旅行会社の人に助けられた経験から、ツアーに興味を持ちパースへ。現在は大学付属学校でビジネスを勉強中。

8:30am 刑務所に到着



1 ツアーの看板をチェック。お客様としてディツアーに行ったことしかないので、ドキドキして今朝は早く目が醒めてしまった。

8:45am 担当者と打ち合わせ



2 まずは担当者のポーラさんにご挨拶。ガイドをするにはトレーニングが必要のため、今回はその必要がない部分をやらせてもらうことに。ポーラさんの笑顔に緊張もやわらく。

オフィスを開ける

3 スタッフルームにある鍵束で、施錠されている部屋の鍵を開けていく。鍵も、「本物ですか?」と聞いてしまうくらい古めかしいもので、歴史を感じる。なかなか開かず焦る。



9:00am

ガイドのステーブさんと出発確認



4 ガイドのステーブさんのアシスタントとして、お客様の名前と人数を確認。出発時と終了時の点呼は、安全にツアーを行なうためにとっても重要だそう。

アルコールチェック

6 トンネルに入る前の参加者のアルコールチェックを担当。「息を吐いてください。どれどれ?」とチェックしてリストに記入する。もちろん、全員合格。



9:05am ツアー出発



5 ツアー出発。ステーブさんは刑務所の横を歩きながら、歴史や建物の説明をする。途中、これから行くトンネルが見える穴を覗く。

9:15am 着替え

7 トンネル内で濡れてもいように、お客様と一緒に専用の服に着替える。通常、トンネル内はカメラの持ち込みは禁止だが、今回は取材のため特別に許可してもらう。その後、トンネルについての解説ビデオを見る。

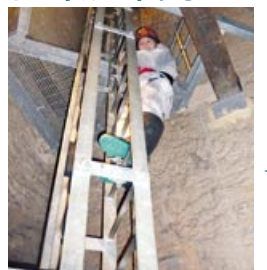


安全装置装着

安全用防具を装着。ヘルメットと救命胴衣を着けて完了。なかなか似合ってませんか?



トンネルへ下りる



次頁
上段へ

安全装置のデモンストレーション

8 トンネルへは、20mほど階段を下りていくため、命綱となる安全装置をつけて下る。ステーブさんと一緒に、安全装置の使い方をお客様の前でデモンストレーション。お客様の安全管理はガイドの重要な仕事。



9 「さあ、下りましょう!」と言いながら、実は高所恐怖症の私…。下を覗くと、スリル満点!でも、お客様の手前怯えるわけにもいかず、安全装置をしっかりつけて階段へ。下を見ないで下りたら、怖くなかった!